

外科第 1

1. 臨床医学教育の現状と評価

(1) 臨床医学教育の目標

外科医としての基本的な知識・技術・態度を取得させる。

- a 腫瘍外科や手術侵襲、周術期管理に関する最新の知識を学ぶ。
- b 消化管出血や急性腹症の初期治療や基本的な手術・手技を実践する。
- c 患者への誠意ある対応や医療スタッフとの協調性を身につける。

(2) 医員、医員（研修医）の現状と研修実績

1) 初期研修医の現状について

a. 研修実績について（対象期間：平成 9 年度～12 年度）

入局者数と本院での研修期間（月数：平均値）

年 度	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度
入局者数	4 人	5 人	5 人	4 人
研修期間	11 ヶ月	11 ヶ月	11 ヶ月	9 ヶ月

b. ローテート方式研修の実績

平成 9 年度：0 人

平成10年度：0 人

平成11年度：1 人、研修した他科名：放射線科

平成12年度：3 人、研修した他科名：消化器内科、麻酔科

2) 医員の受入れ状況（対象期間：平成 9 年度～12 年度）

年 度	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度
採用者数	5 人	5 人	5 人	5 人

(3) 指導体制について

- 1) 院内あるいは連携病院にて、初期研修 2 年間の内、6 ヶ月以上の他科ローテーションを行う。
- 2) 指導は診療科長以下当科のスタッフ、あるいはローテーション先のスタッフが責任を持って行う。

(4) 研修の評価について

- 1) 術前および術後検討会、病状説明における説明、発表を的確に行えるようにする。
- 2) また、年間研修プログラムに沿って手術における外科基本手技の習熟を図り、これも評価の基準とする。

(5) 関連研修施設の現状

- 1) 国立別府病院、2) 国立病院九州医療センター、3) 大分県立病院、
- 4) 大分赤十字病院、5) 松山赤十字病院、6) 健康保険南海病院、
- 7) 中津市民病院、8) 有田胃腸病院、9) こが病院、10) 牧山中央病院、
- 11) 津久見中央病院、12) 臼杵市医師会立コスモス病院、13) 麻生飯塚病院

- 14) 岩男病院、15) 清瀬病院、16) 黒木記念病院、17) 国立大分病院、
- 18) 五反田胃腸科外科病院、19) 小文字病院、20) 酒井病院、
- 21) 佐藤第一病院、22) 新行橋病院、23) 杉村記念病院、24) 鈴木病院、
- 25) 膳所病院、26) 高田中央病院、27) つるさきクリニック、
- 28) 渡町台外科病院、29) 中津胃腸病院、30) 福岡市立こども病院、
- 31) プレストピアなんば病院、32) 防府消化器病センター防府胃腸病院、
- 33) 御手洗病院

(6) 臨床教授

- 1) 有田 毅 (有田胃腸病院院長 外科)
- 2) 上尾 裕昭 (大分県立病院 外科部長)

(7) 認定医・専門医・指導医の取得状況 (平成9年度－12年度)

- a・日本外科学会／認定医15名，指導医2名
- b・日本消化器外科学会／認定医13名，専門医2名，指導医3名
- c・日本消化器内視鏡学会／認定医11名，指導医1名
- d・日本消化器病学会／認定医4名

(8) 学会認定施設の状況

- 1) 日本外科学会認定施設
- 2) 日本消化器外科学会認定施設
- 3) 日本消化器病学会認定施設
- 4) 日本肝臓学会認定施設
- 5) 日本胃癌学会認定施設
- 6) 日本消化器内視鏡学会

※今後の課題と改善策

- ・研修医が主体の自発的な学習→教育カリキュラムの見直し
- ・問題解決能力の修得→余裕を与えて考えさせる教育

2. 臨床医学研究の現状と評価

(1) 臨床医学研究の目標

- 1) 消化器癌腫瘍外科における基礎研究の推進
- 2) 癌治療における新たな遺伝子治療・免疫療法の開発

(2) 研究スタッフ

教授 1名、助教授 1名、講師 3名、助手 5名
実験助手 (非常勤職員を含む) 3名
事務職員 (非常勤職員を含む) 4名

(3) 研究領域と研究課題 (対象期間：平成9年度－12年度)

主な研究課題名

- 1) 癌における体腔鏡手術の評価と適応拡大に関する研究 (厚生省、成毛班)
- 2) 門脈血行異常症 (門脈圧亢進症の胃粘膜における易障害性) に関する研究 (厚生省、杉町班)
- 3) がんの予後因子決定としての遺伝子診断に関する研究：消化器癌における検討 (科研)

- 4) 癌遺伝子および細胞周期調節蛋白異常の検出による胃・大腸癌の悪性度評価への応用
(科研)
- 5) 生体蛍光顕微鏡を用いた肝阻血・再灌流における肝微小循環の解析と新しい治療の試み
(科研)
- 6) 骨髄神経叢直腸枝におけるNitric oxide神経の分布に関する組織化学研究 (科研)
- 7) 重症身障児、神経障害児における胃食道逆流症および腹腔鏡下噴門形成術に関する検討
(科研)
- 8) 門脈血行異常症 (門脈圧亢進症) に関する適応外使用医薬品 (塩酸プロプラノロール)
の臨床研究に関する研究 (官民共同プロジェクト研究)
- 9) 癌の転移性に与える炭酸ガス気腹の影響における基礎研究 (科研)
- 10) 胃癌の腹膜播種病変部における血管新生の関与に関する解析 (科研)
- 11) 胆道・膵領域癌における分子生物学的診断に基づく治療体系の確立に関する基礎的研究
(科研)
- 12) 食道静脈瘤に対する薬物療法の新たな展開 (科研)
- 13) 肝癌に対するマイクロ波凝固壊死療法におけるアポトーシス誘導機序に関する基礎的検討
(科研)
- 14) 原発性肝癌に対する樹状細胞を用いた免疫療法 (学内倫理委員会承認研究課題)

(4) 博士 (医学) の学位の取得状況 (平成9年度-12年度)

年 度	9年度	10年度	11年度	12年度
取得者数	3名	4名	5名	7名

(5) 学会、研究会活動 (シンポジウム、特別講演、学会役職等)

年 度	9年度	10年度	11年度	12年度
学会発表 (国際)	16回	34回	32回	14回
(国内)	132回	115回	122回	116回
(地方)	19回	44回	42回	31回
(司会・座長)	19回	25回	18回	12回
シンポジウム特別講演等				
(国際)	10回	29回	8回	25回
(国内)	23回	21回	28回	33回
(地方)	4回	2回	5回	12回
(司会・座長)	15回	14回	14回	17回

学会役職（評議員、理事等）	（平成9年度－平成12年度）
日本外科学会	北野 正剛（評議員）
日本消化器病学会	北野 正剛（評議員）
日本消化器外科学会	北野 正剛（評議員） 安達 洋祐（評議員）
日本消化器内視鏡学会	北野 正剛（評議員）
日本臨床外科学会	北野 正剛（評議員）
日本肝胆膵外科学会	北野 正剛（評議員） 川野 克則（評議員） 板東登志雄（評議員）
日本腹部救急医学会	北野 正剛（評議員）
日本癌治療学会	北野 正剛（評議員）
日本門脈圧亢進症学会	北野 正剛（理事・評議員）
日本内視鏡外科学会	北野 正剛（理事・評議員） 白石 憲男（評議員） 板東登志雄（評議員）
日本胸部外科学会九州支部	北野 正剛（評議員）
日本外科系連合学会	北野 正剛（評議員）
日本胃癌学会	北野 正剛（評議員） 安達 洋祐（評議員） 白石 憲男（評議員）
創傷治療学会	北野 正剛（評議員）
九州外科学会	北野 正剛（評議員） 川野 克則（評議員）
日本消化器病学会九州支部	北野 正剛（評議員）
腹壁吊り上げ法手術研究会 内視鏡下胃癌リンパ節郭清手技研究会	北野 正剛（代表世話人）
手術手技研究会 外科侵襲とサロカイン研究会 クニカビ・デ・オフォーラム Sentinel Node Navigation Surgery 研究会 HEQ研究会 マルチメディア外科研究会 消化器内視鏡外科推進連絡会 胃外科・術後障害研究会 九州肝不全研究会	北野 正剛（世話人）
九州内視鏡外科手術研究会	北野 正剛（世話人） 板東登志雄（監事）
九州肝臓外科研究会	北野 正剛（世話人） 川野 克則（幹事）

(6) 研究論文 (英文、和文) (平成9年度-12年度)

【平成11年】

- 1) Shibata K, Tanaka S, Shiraishi T, Kitano S, Mori M: G-protein $\gamma 7$ is down-regulated in cancers and associated with P27^{kip1}-induced growth arrest, *Cancer Res*, 59:1096-1101, 1999
- 2) Adachi Y, Suematsu T, Shiraishi N, Katsuta T, Morimoto A, Kitano S, Akazawa K: Quality of life after laparoscopy-assisted Billroth I gastrectomy, *Ann Surg*, 229 (1): 49-54, 1999
- 3) Baatar D, Kitano S, Yoshida T, Bandoh T, Ninomiya K, Tsuboi S: The role of nitric oxide in the inhibition of gastric epithelial proliferation in portal hypertensive rats, *J Hepatol*, 30: 1099-1104, 1999
- 4) Yasuda K, Shiraishi N, Suematsu T, Yamaguchi K, Adachi Y, Kitano S: Rate of detection of lymph node metastasis is correlated with the depth of submucosal invasion in early stage gastric carcinoma, *Cancer*, 85 (10): 2119-2123, 1999
- 5) Tahara K, Mori M, Sadanaga N, Sakamoto Y, Kitano S, Makuuchi M: Expression of the MAGE gene family in human hepatocellular carcinoma, *Cancer*, 85 (6): 1234-1240, 1999

【平成12年】

- 6) Etoh T, Inoue H, Yoshikawa Y, Barnard G F, Kitano S, Mori M: Increased expression of collagenase-3 (MMP-13) and MT1-MMP in oesophageal cancer is related to cancer aggressiveness, *Gut*, 47 (1), 50-56, 2000
- 7) Shiraishi N, Inomata M, Osawa N, Yasuda K, Adachi Y, Kitano S: Early and late recurrence after gastrectomy for gastric carcinoma, *Cancer*, 89 (2), 255-261, 2000
- 8) Adachi Y, Yasuda K, Inomata M, Sato K, Shiraishi N, Kitano S: Pathology and prognosis of gastric cancer: Well-vs poorly-differentiated type, *Cancer*, 89 (7), 1418-1424, 2000
- 9) Goto S, Lin Y C, Lai C Y, Lee C M, Pan T L, Lord R, Chiang K C, Tseng H P, Lin C L, Cheng Y F, Yokoyama H, Kitano S, Chen C L: Telomerase activity in rat liver allografts, *Transplantation*, 69, 1013-1015, 2000
- 10) Etoh T, Shibata K, Barnard G F, Kitano S, Mori M: Angiogenin expression in human colorectal cancer: the role of focal macrophage infiltration, *Cancer Res*, 60 (9): 3545-3551, 2000

(7) 高度先進医療開発研究の現状

- 1) 肝臓に対する高周波凝固療法
- 2) 腹腔鏡下肝切除術

※今後の課題と改善策

- ・癌患者のQOL評価→生存率以外の尺度で手術成績を解析
- ・臨床応用可能な基礎的研究→内視鏡外科腫瘍学の推進

3. 診療の現状と評価

(1) 診療の目標

- 1) 消化器から乳腺疾患までの幅広い疾患に対する治療
- 2) 患者に優しい先端医療、特に内視鏡治療や腹腔鏡手術

(2) 診療実績（平成9年度－12年度）

区 分	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
外 来 患 者 数	5,295人	4,534人	4,947人	5,020人
初 診 患 者 数	510人	504人	549人	537人
紹 介 患 者 数	283人	316人	356人	326人
入 院 患 者 数	16,001人	16,331人	16,942人	16,390人
平 均 在 院 日 数	32.1日	29.5日	28.4日	24.3日
平均病床稼働率	91.3%	94.0%	98.5%	95.5%
死 亡 退 院 率	2.8%	2.9%	4.0%	4.6%
剖 検 率	1.0%	6.3%	0.0%	3.3%

(3) 特殊検査・手術症例等

- 1) 内視鏡超音波検査
- 2) 腹腔鏡下総胆管結石手術
- 3) 腹腔鏡補助下胃切除術
- 4) 腹腔鏡補助下大腸切除術
- 5) 腹腔鏡補助下肝切除術
- 6) 肝癌高周波凝固療法

(4) 特殊専門外来

乳腺外来

(5) 高度先進医療・先端医療の導入

肝腫瘍に対する高周波熱凝固療法（申請中）

※今後の課題と改善策

- ・患者のニーズに応える医療→初診時の意識調査に基づいた診療
- ・柔軟な病診連携→連携施設との勉強会や症例検討会
- ・低侵襲手術の推進、市民公開講座やマスコミを通じた宣伝活動

4. 国際交流について（平成9年度－12年度）

(1) 国際医療協力体制

本大学とドミニカ共和国との医療協力につき、医師派遣等を行っている。

(2) 留学（長期外国出張）

- 1) 長庚医科大学（台湾）、平成9年6月－平成13年3月、副教授、1名
- 2) ワシントン州立大学（アメリカ合衆国）、平成11年9月－平成11年11月、研究打ち合わせ、1名
- 3) 長庚医科大学（台湾）、平成10年4月－平成13年3月、研究員（各年度毎1名）

(3) 外国出張 (国際学会活動など)

1) 平成9年

講演および手術指導	1人	オーストラリア
米国消化器病週間	3人	アメリカ合衆国
第38回万国外科学会	1人	メキシコ
1997 Sclerotherapy and Varix Bleeding Meeting	1人	アメリカ合衆国

2) 平成10年

Indian Association of Endosurgeons 3rd Annual Congress	1人	インド
中華民国外科学会	1人	台湾
米国消化器病週間	2人	アメリカ合衆国
International Workshop on Stomach Cancer	1人	シンガポール
2nd International Gasless Laparoscopy Meeting 打ち合わせ	2人	中国
3rd Latin America Congress of Endoscopic Surgery	1人	ブラジル
米国外科学会国際会員懇話会	1人	アメリカ合衆国
2nd International Gasless Laparoscopy Meeting	8人	中国

3) 平成11年

ケープタウン大学講演、研究打ち合わせ	1人	南アフリカ共和国
Japanese/German Surgical Workshop 講演	1人	ドイツ
第3回国際胃癌学会	3人	大韓民国
米国消化器病週間	2人	アメリカ合衆国
日中肝胆膵シンポジウム	4人	中国
日中消化器内視鏡・消化器疫病学術交流会	1人	中国
第38回万国外科学会	2人	オーストリア
1999国際消化器内視鏡学会	1人	台湾
第85回米国外科系連合学会	1人	アメリカ合衆国
99Beijing Surgical Week	1人	中国
共同研究打ち合わせ	2人	台湾

4) 平成12年

台南成功大学講演	1人	台湾
研究打ち合わせ	1人	南アフリカ共和国
2nd International Symposium, Laparoscopic Surgery :		
Advanced Treatment for the New Millenium	1人	ロシア
米国消化器病週間	1人	アメリカ合衆国
第7回世界内視鏡学会	6人	シンガポール
St.Vincent's Hospital International Symposium	1人	大韓民国
研究打ち合わせ	1人	アメリカ合衆国

(4) 外国人研究者の受け入れ状況

年 度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
目 的	研 究	研 究	研 究	研 究
受 入 人 数	1 名	1 名	1 名	1 名
出 身 国 名	モンゴル	モンゴル	モンゴル	モンゴル
滞 在 期 間	4 年間	4 年間	4 年間	4 年間
費 用 負 担	国 費	国 費	国 費	国 費

※今後の課題と改善策

- ・交流協定締結校との交流→若い医師の短期留学
- ・発展途上国への貢献→JAICAやユニセフへの参加

5. 国内学会や研究会の開催（平成9年度－12年度）

診療科で担当した地方学会・研究会、全国規模の学会・研究会

学 会 等 の 名 称	開催期日	参加人員	発表形式	その他
第64回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	1997年12月12-13日 大分	900名	口演、特別講演	
第8回九州内視鏡下外科手術研究会	1998年9月14日 大分	200名	口演、特別講演	
2nd International Gasless Laparoscopy Meeting	1998年11月5日 Shanghai	300名	口演、特別講演	国際学会
第19回市民公開講座 (日本消化器病学会九州支部)	1999年6月5日 大分	300名	口演(セミナー)	
第21回九州肝臓外科研究会	1999年7月10日 大分	150名	口演、特別講演	
第13回日本消化器内視鏡学会九州セミナー	2000年2月5-6日 福岡	250名	口演(セミナー)	
第25回九州外科代謝・栄養研究会	2000年3月25日 大分	100名	口演、特別講演	
第3回消化器内視鏡外科推進連絡会	2000年7月21日 宮崎	150名	口演、特別講演	

※今後の課題と改善策

- ・学会のIT革命→コンピュータープレゼンテーションの推進
- ・研修医の学会経験→全国学会への参加や地方会での発表

6. 地域との関わり

診療科で担当した大分県内の研修会、研究会について

研修会等の名称	開催頻度	参加人員	発表形式	日本医師会生涯教育制度適合学術集会
第28回大分肝臓懇話会	平成9年11月4日	90名	特別講演	○
第2回大分肝臓疾患研究会	平成10年3月25日	94名	口演、特別講演	○
第10回大分内視鏡下外科手術研究会	平成10年6月27日	80名	口演、特別講演	○
第3回癌と遺伝子・大分外科フォーラム	平成10年7月24日	80名	口演、特別講演	○
第30回大分肝臓懇話会	平成10年11月17日	90名	特別講演	○
第1回医療実践セミナー	平成10年12月1日	105名	特別講演	—
第152回大分県外科医会	平成10年12月5日	117名	口演、特別講演	○
大分 Biochemical Modulation 研究会	平成11年9月24日	110名	口演、特別講演	○
第32回大分肝臓懇話会	平成11年11月2日	90名	特別講演	○
第2回医療実践セミナー	平成11年12月7日	78名	特別講演	—
第157回大分県外科医会	平成12年3月4日	107名	特別講演	○
第34回大分肝臓懇話会	平成12年11月7日	90名	口演、特別講演	○
第3回医療実践セミナー	平成12年12月6日	111名	特別講演	—
P S K 学術講演会	平成12年12月12日	100名	特別講演	○
大分癌化学療法研究会	平成13年2月17日	70名	口演、特別講演	○

※今後の課題と改善策

- ・地域住民への啓蒙活動→公民館での講演や保健所での交流
- ・検診業務への協力→各種癌検診への人的貢献

7. 診療科の特色

- (1) 幅広い腫瘍外科：胃癌・大腸癌・肝癌・胆道癌・膵癌・乳癌の治療
- (2) 患者にやさしい先端医療：内視鏡治療は腹腔鏡手術のリーダー
- (3) 科学的な目をもつ外科医の育成・世界に通じる豊富な研究業績

8. 将来展望

- (1) 患者が全国から集まるようなオーダーメイドな低侵襲治療の推進
- (2) 若い外科医が全国から集まるような臨床研修システムの構築
- (3) 世界中の外科医が注目するような実践的な臨床研究の発表